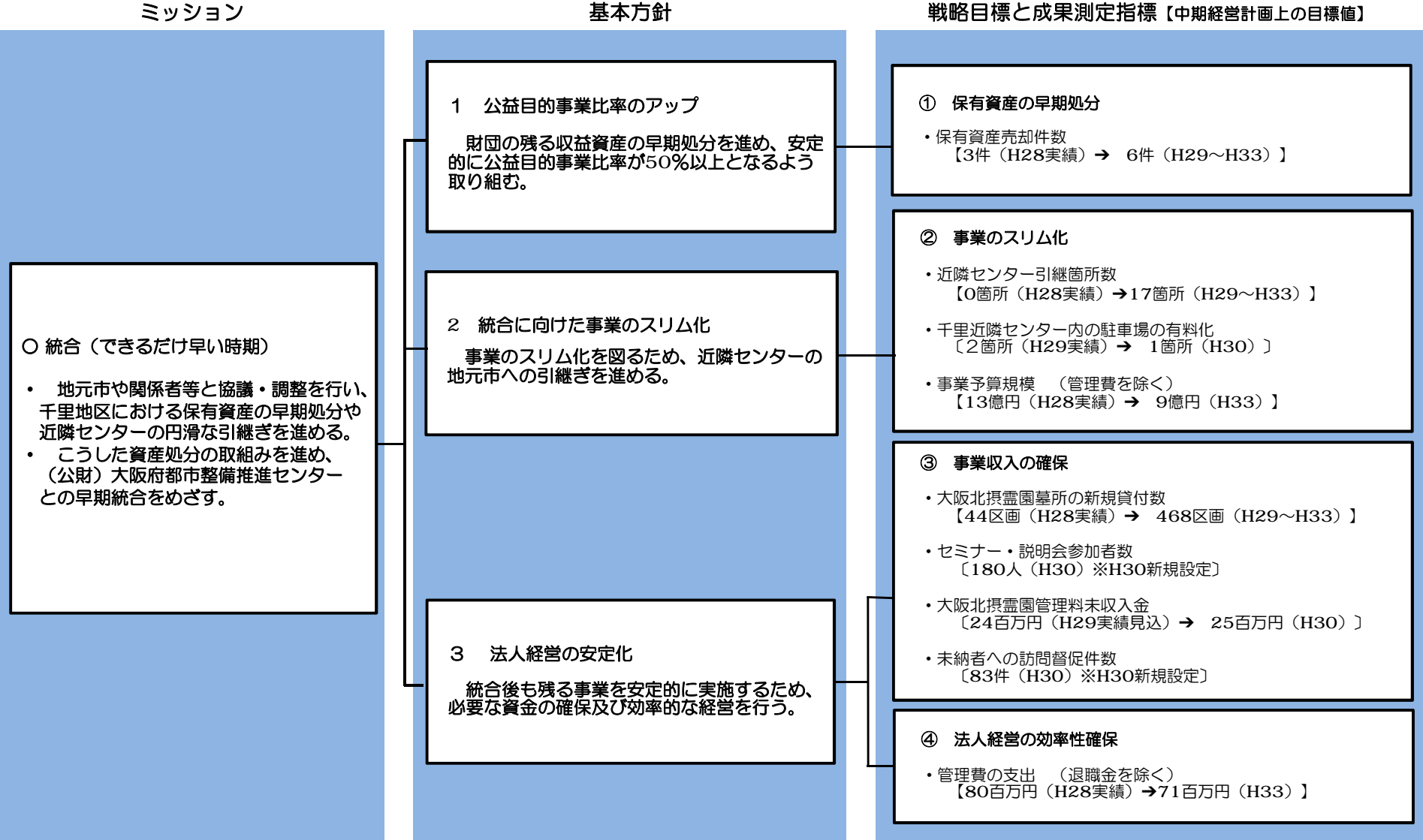


法人名	一般財団法人 大阪府タウン管理財団
作成(所管課)	住宅まちづくり部 タウン推進局 管理課

# ○ 経営目標設定の考え方



## ○ H29年度の経営目標達成状況及びH30年度目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)											
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (H29)	H28実績	H29目標	H30目標	ウエイト (H30)	中期経営計画 (H29～H33)		H30目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
						実績(見込)			H30目標	最終年度目標	
① 保有資産の早期処分	保有資産売却件数		件	30	3 (20/24)	1 (1/6) 1 (1/6)	2 (3/6)	30	2	累計6	・ 中期経営計画に基づき、桃山台駅前商業施設及び要員住宅の2件の売却を目指す。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)										具体的活動事項	
最重点とする理由、 経営上の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保有資産を早期に処分し、(公財)大阪府都市整備推進センターとの統合に向け、公益目的事業比率を高めることが、当法人の最重要課題。</li> <li>○ そのため、中期経営計画の経営目標である「保有資産売却件数」を、最重点目標として設定する。</li> </ul>										
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、保有資産の早期処分に向け、全力で取り組んでいく。</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 千里地区の保有資産の処分に向けて、地元市や関係者等と協議・調整を進め、課題等の解決を図りつつ、平成30年度は、桃山台駅前商業施設及び要員住宅の2件について、公募入札等による売却を進める。</li> </ul>
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資産処分に係る権利関係の整理を行うとともに、地元市における今後のまちづくり方針との整合性を図る必要があるものについては、関係者との協議・調整を行いながら、資産処分を進めていく。</li> </ul>										

## Ⅱ. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (H29)	H28実績	H29目標	H30目標	ウエイト (H30)	中期経営計画 (H29～H33)		H30目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績(見込)			H30目標	最終年度目標		
② 事業のスリム化	近隣センター引継箇所数		箇所	15	( 0 )	4 × 1	3	15	0	累計17	地元市や関係者と協議調整を行い、高倉台・若松台・晴美台近隣センター(3箇所)の引継ぎを目指す。	近隣センターに係る越境物件の対応等の課題解決に向けて、地元市や関係者と協議調整を行い、地元市等への円滑な資産の引継ぎを目指す。
	事業予算規模(管理費を除く。)		億円	10	13	12 12	11	10	11	9	支出全般に対する精査を行い、経費の節減に努める。	保有資産の処分、引継ぎ等を鋭意進めるとともに、支出全般にわたる経費節減に努める。
	千里近隣センター内の駐車場の有料化		箇所	10	( 2 )	3 × 2	↓ 1	10	—	—	地元市や管理組合と協議調整を行い、新千里北町近隣センター来客用駐車場の有料化を目指す。	千里近隣センターの引継ぎ課題の一つである駐車場の有料化を進め、収入確保に努める。
③ 事業収入の確保	大阪北摂霊園墓所の新規貸付数		区画	15	( 44 )	68 × 30	44	10	100	累計468	過去3か年(H27～29年度)における新規貸付数の平均値を目標値とする。	霊園の空き墓所について、永代使用料の値下げの実施のPRをはじめ、より積極的なPRに努め、墓所の新規貸付数の増加を目指す。
	セミナー・説明会参加者数	☆	人	—	—	— (0)	180	5	—	—	お盆、秋のお彼岸、春のお彼岸の時期を中心に年4回以上の開催を見込み、計180人の参加を目標とする。	墓離れが進む中、お墓に関するセミナーや北摂霊園の現地説明会を開催し、当霊園の魅力を発信するとともに認知度の向上を図り、新規貸付者数の増加を目指す。
	大阪北摂霊園管理料未収入金		百万円	10	26	25 24	↓ 25	5	—	—	従前より前期以前発生未収入金の回収率と当該年度の収入調定額の納付率から算出したものを目標値に設定。 H30年度は現年分の収入調定額がH29年度の1.7倍に増加する状況にあるが、昨年度と同様の目標とする。	霊園事業の安定的な運営を図るため、未収入金対策として、電話や訪問等による督促の強化を図り、滞納解消に努める。
	未納者への訪問督促件数	☆	件	—	(52)	— (55)	83	5	—	—	現年分の調定額が大幅に増加することから、現年分の未納者への訪問督促件数を前年度の1.5倍として目標設定する。	将来の長期滞納者の増加を防ぐため、特に現年分の未納者への訪問督促を重点的に行い、未収入金の増加の抑制を目指す。
Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)												
④ 法人経営の効率性確保	管理費の支出(退職金を除く。)		百万円	10	80	79 79	77	10	77	71	H30年度は事務機器の更新時期となり費用の増加が見込まれるが、事務の効率化を図り経費の削減に努める。	支出全般にわたり、事務の効率化を図るなど、経費削減に努める。

### 【凡例】

- ・☆はH30からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・( )は当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

## ■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値	29年度の実績値 (見込)
近隣センター引継箇所数	箇所	4	1

未達成の要因と分析	<p>地元市と近隣センターの円滑な引継ぎに向けて協議・調整を進めているところであるが、近隣センター内の駐車場を引継ぐにあたり、地元市が議会の議決により承認を得て、近隣センター商店会において管理する方向で調整するとの方針を出し、若松台、晴美台、高倉台の一部の3箇所の近隣センターは、29年度中に引継ぐことができない状況となった。</p>
-----------	---

今後の改善方策	<p>平成30年度中に地元市議会の議決を得た後、順次地元市へ引継ぐ方向で調整する。</p>
---------	---

〔2〕

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値	29年度の実績値 (見込)
千里近隣センター内の駐車場の有料化	箇所	3	2

未達成の要因と分析	<p>当該年度は、津雲台・古江台・青山台の3箇所の近隣センター来客用駐車場の有料化を目標値に計上。 3箇所のうち青山台については、駐車場の管理を委ねている近隣センター管理組合との間で有料化に対する合意形成に至らなかったことから、目標達成とならなかった。</p>
-----------	--

今後の改善方策	<p>青山台近隣センター管理組合について、平成30年度は引続き合意形成に努めつつ、他の近隣センター来客用駐車場の有料化を進め、平成31年度の来客用駐車場の有料化を目指す。</p>
---------	---

法人名

一般財団法人 大阪府タウン管理財団

## ■ 目標値未達成の要因について

〔3〕

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値	29年度の実績値 (見込)
大阪北摂霊園墓所の 新規貸付数	区画	68	30

## 未達成の要因と分析

平成29年10月に永代使用料の値下げ（2割減額、既使用地はさらに2割減額）を実施し、新規広告媒体（大阪モノレール車内広告、北大阪急行駅貼りポスター等）を活用して周知を行ったが、新たに開設した合葬式墓地の広告宣伝を重点的に行ったため、一般墓所の新規貸付については、目標達成に至らなかったと考える。

## 今後の改善方策

大阪北摂霊園の周知を図るため、値下げ実施のPRをはじめ、より積極的なPRを実施するとともにお墓に対する意識等のセミナーを開催するなど、広告宣伝を充実させ、新規貸付者の増加を目指す。

## ■ H29年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	29年度の実績値 (見込)	30年度の目標値
千里近隣センター内の駐車場の有料化	箇所	2	1

### マイナス（現状維持）目標の考え方

近隣センター来客用駐車場の有料化については、新千里北町・新千里西町・新千里南町の3か所を対象としているが、これまでの管理組合との意向確認では、新千里西町・新千里南町においては、今後も合意形成に相当な時間を要するものと判断される。

このことから、30年度においては、引き続き有料化に向けた協議を各管理組合と行っていくとともに、新千里北町が確実に実施できるよう取り組むことを目標値として計上する。

〔2〕

成果測定指標	単位	29年度の実績値 (見込)	30年度の目標値
大阪北摂霊園管理料未収入金	百万円	24	25

### マイナス（現状維持）目標の考え方

大阪北摂霊園管理料未収入金については、「前期以前発生の未収金の回収率」と「当該年度の収入調定額の納付率」から算出したものを目標値に設定している。

過去の墓地貸付には年度ごとにばらつきがあることから、現年度分の調定額には年度ごとに増減が生じることとなる。

H30年度の収入調定額は171百万円となり、H29年度の105百万円から大幅に増加するため未収入金の増加見込まれる。現年分の未納者への訪問督促を重点的に実施することを目標とする。なお、現年分の納付率をH29年度納付率の2%アップの97.7%に設定し、未収入金を29年度と同額の25百万円に設定する。